経済指標ウォッチャー

9月米国雇用統計 良好な雇用環境が続く

高水準の労働参加率の定着が賃金上昇圧力緩和へのカギに

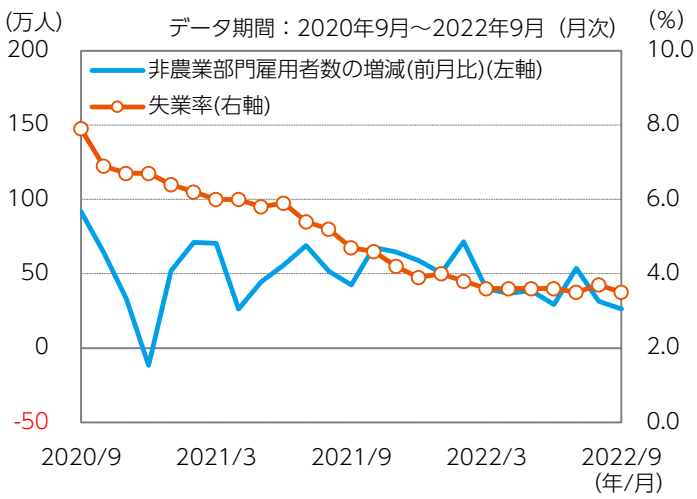
米国雇用統計とは？
米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月の第１金曜日に公表される。
米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

9月の非農業部門雇用者数は前月から小幅増加

7日に米国労働省が発表した9月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比26.3万人増と、市場予想の同25.5万人増を小幅に上回りました(図表1）。足元の増加幅は2ヵ月連続で縮小しているものの、雇用者数は引き続き高水準を維持しています（図表１、2）。

内訳では、小売業や金融業などのサービス業を中心に、一部の業種で雇用者数の増加幅が縮小しているものの、娯楽・ホスピタリティやヘルスケアを中心に労働者数は増加しています。なお、失業率は3.5%と、８月の3.7%から改善し（図表2）、引き続きFRB（米連邦準備制度理事会）の長期予測である4.0%を下回っており、良好な雇用環境が続いています。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



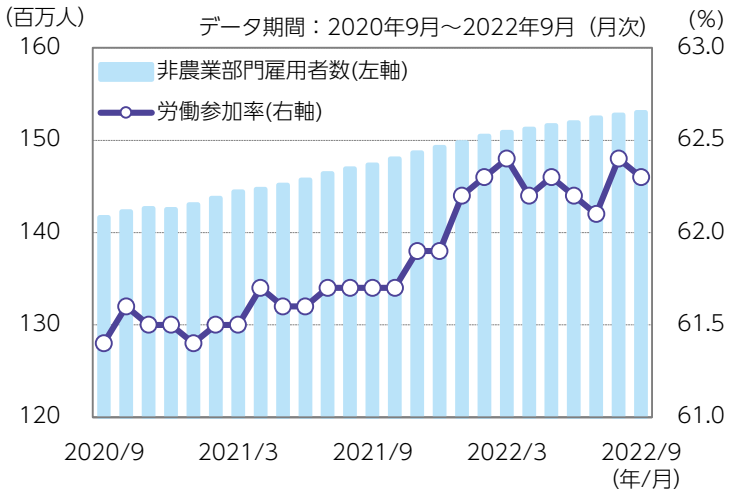
※ 非農業部門雇用者数増減は前月比

賃金上昇圧力にやや緩和の兆しが見え始める

16歳以上の人口に占める労働力人口を示す労働参加率は62.3%と、前月から0.1ポイント低下となったものの、コロナ禍からの回復傾向を維持しており、これまで多くの業種で課題となっていた人手不足は解消に向かいつつあるとの見方もあるようです(図表2)。また、労働者の平均時給の伸びは横ばい圏で推移しており、賃金上昇圧力にもやや緩和の兆しがみられて始めています。

今後も労働参加率が高水準で定着することとなれば、インフレの高止まりの要因の１つとなっている賃金上昇の伸びが落ち着きを取り戻すことも期待できそうです。

図表２：非農業部門雇用者数と労働参加率



出所）図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/